

上田から松本へ 中南信支部総会に出席（11月16日）

11月14日、晩秋の上田に帰省して、先日の台風19号で被災した上田電鉄別所線の千曲川沿岸の崩落した鉄橋の現場を訪れた。

上田から別所温泉までの別所線は運転休止中であったが、16日から城下一別所温泉間が運転再開されることになった。完全再開にはまだ時間がかかりそうである。

同じく、田中―上田間が不通だったしなの鉄道も15日に復旧した。

母校同窓会館を訪問すると、古城の門前の紅葉は最後の頃を迎え、お堀は大雨の後のせいか、水面に紅葉を映していた。懸案のお堀の浚渫工事は12月から3カ月ほどかけて行う予定とのことである。

【写真1:崩落した上田電鉄の鉄橋（19.11.13撮影）】



【写真2:別所線は上田駅から不通の状態（19.11.13撮影）】



【写真 3:上田高校校門沿いのお堀 (19. 11. 14 撮影)】



16日(土)は松本駅西口のホテルモンターニュ松本で開かれた第26回中南信支部総会に関東同窓会を代表して出席した。当支部総会にはこれまで4回ほど参加しており顔なじみも大勢いる。当支部は松本、塩尻、諏訪、岡谷、茅野、飯田、伊那方面の同窓生会員567名から構成されている。当日は来賓も含め、52期から100期までの同窓生45名が参集して盛会となった。

65期の同期もご当地に何人が在住しているが、今回は都合がつかず出席は無かった。小池健一支部長(67期)、金子元昭同窓会理事長(68期)、柳沢忠男上田高校教頭の挨拶の後、記念講演では日弁連前会長の村越進さん(67期、弁護士)による『日弁連とは何者か』と題する話を聞いた。

懇親会では、熟年同窓生によるハンドベル演奏と初谷澄夫さん(67期)による尺八の独奏を楽しんだ。

宴会の冒頭、筆者は来賓として関東同窓会の活動状況をスピーチさせてもらった。

(2019年11月18日記)